



言葉づかいは心づかい



6月に入り、日に日に日差しが強くなってきました。毎日さまざまな方とふれあうみなさんは、言葉づかいについて、ふと考えることもあるのではないのでしょうか。

もし「言葉づかいに自信がありますか？」と聞かれたら、胸をはって「あります！」と答えることができるのでしょうか。日本語学者の著名な方であっても、知識と話すことは違うとおっしゃいます。そこで、よく耳を澄ませてみてください。みなさんのまわりにすてきな言葉づかいの方はいらっしゃるいませんか？ きっとその方は、ただ単に正しい日本語を話しているわけではなく、心のこもった感じの良い言葉づかいで、まわりの方と良い人間関係を築いていらっしゃるのではないのでしょうか。

言葉は、人と人をつなぎ、気持ちの良い関係を作るためのものでもあります。言葉づかいの「づかい」は「遣い」と書きます。言葉を伝えるだけの道具として使うのではなく、心の「遣い」として送り届けるといふ意味が込められています。自分の心を送り届けて、相手の方とより良いコミュニケーションがとれるといいですね。

相手が心地良いと感じる「魔法の言葉」をつかってみませんか？



プラスひと言の声かけ

人との出会いで最初に交わすのは挨拶です。まずは目を合わせて、笑顔で挨拶！そうすることで、相手に届く挨拶が変わります。さらに、プラスひと言の声かけをしてみましょう。挨拶言葉のあとに「日差しが強くなりましたね」など、天気について話したり「髪形変えましたか？」「ずいぶん顔色がよくなりましたね！」など、相手に合わせた言葉を添えたり・・・ちょっとした変化に気づいてもらえたら、誰でも嬉しいものです。あなたのちょっとしたひと言が、相手に好感・安心感を届け、コミュニケーションが広がります。

ポジティブな言葉選びを

言葉の印象は、その人の印象につながります。ポジティブな言葉は、自分の心も相手の心も元気にし、まわりの雰囲気も明るくします。そんな言葉をつかっている人からは、明るく、好印象を受けませんか？ ネガティブな言葉をポジティブな言葉に変えて、あなたから明るい雰囲気づくりを目指してみましょう。

「今日は、無理です／できません」

→「明日の午前中でしたらできます！」

感謝の気持ちを言葉に

いつも人からしてもらっていることは、いつの間にか感謝することを忘れがち。「ありがとう」のひと言は心を温かくする魔法の言葉です。「ありがとう」でいっぱい空間を作りましょう。

こんな言葉にご注意を！！

「～でよかったでしょうか」「～のほう」

「～する形」などのマニュアル敬語や、「ヤバイ」

「ハンパない」などの流行言葉は避けましょう。

日本人は、成人で約5万もの語彙をつかって話をしているといわれています。

日本語の豊富な言葉をつかい、たくさんの心づかいを届けることができるといいですね。

隔月発行 次回は8月発行予定 お楽しみに♪

